

理数科1・2年生

校外研修で「上高地」へ行ってきました

理数科では校外研修で自然体験や研究所などでの実習などを行っています。今年度は1・2年生が7月16日(火)に、長野県の上高地へ行ってきました。梅雨であり、早朝の激しい雨で実施できるか心配されましたが、幸い小雨となり研修を行うことができました。上高地は日本を代表する景勝地です。穂高岳を望む谷を流れる梓川がつくった山地の自然を観察することができます。散策路の一部は7月上旬の豪雨により、流失・破損しており、う回路が設けられていましたが、大正池から河童橋までを、河畔林や湿地に生える植物を観察しながら散策しました。里山とは違った植物や風景を見ることができました。



大正池にて

大正池は梓川が大正4年の焼岳の噴火に伴う土石流でせき止められてできました。

大正池から上流の横尾まで、約10kmほど比較的平坦な谷底平野が続いています。これは過去に焼岳火山群によって梓川がせき止められて湖が形成されたためです。



大正池から田代池に向かう林間の鮮やかな緑の散策路



田代湿原

森の中から急に視界が開けるように田代湿原・田代池が現れます。湿地を埋めるスゲの草原には動物の踏み分けた跡がみられました。前日にはクマの目撃情報もあったようです。



林床は笹が多く見られますが、様々な花を見つけることができます。



河岸は増水などによって浸食や堆積するなど不安定な場所です。こうした場所にはケショウヤナギやオノエヤナギ、タニガワハンノキなどによる河畔林が発達します。



上高地のシンボルである河童橋でのお弁当
穂高岳は中腹まで雲に隠れていました。
雲間に残雪がのぞいていました。

河童橋の上流で川遊び
お弁当の後は自由散策
梓川の流れを楽しむグループも

自然環境を知る活動を今後も大切にしていきたいと思っています。

